

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子どもの保健Ⅱ	演習	1	大泉 恵美
【授業のテーマ及び到達目標】 (テーマ) 子どもの健康を維持・促進するために、保育者に求められる知識と技術を具体的に学ぶ。 (到達目標) ①子どもの健康を考える上で必要な知識を身につけ、それを技術として適切に活用できる。 ②子どもの発育・発達と健康との関係における個人差を理解し、それに応じた対応ができる。 ③子どもの生命にかかわるような事態に、適切に対応するための知識・技術を習得する。			
【授業の概要】 本授業では、子どもを対象として、「発達段階や健康状態に応じた養護の方法」「事故防止や感染対策のための必要な環境設定」「応急処置」などを取り上げる。講義と演習を組み合わせた授業を展開する。			
【全体の授業計画・内容】			
1. 私がイメージする「子どもの健康」とは			
2. 子どもの発育・発達を知る ①身体・運動などの発達			
3. 子どもの発育・発達を知る ②情緒・認知などの発達			
4. 子どもの発育・発達を知る ③体重・身長測定の方法、発育状態の評価			
5. 子どもの健康状態を知る ①体温・脈拍・呼吸・一般状態			
6. 子どもの健康状態を知る ②体温・脈拍・呼吸などの測定			
7. 日常における養護の方法 ①抱き方・食事の与え方・口腔内の衛生など			
8. 日常における養護の方法 ②衣服の着せ方・沐浴の方法・排泄のさせ方など			
9. 日常における養護の方法 ③環境整備・衛生管理など			
10. 体調不良時の対応 ①感染症・発熱時・鼻づまり・咳などの対応			
11. 体調不良時の対応 ②嘔吐・下痢・便秘などの対応			
12. いざという時の応急処置 ①急病時の応急処置			
13. いざという時の応急処置 ②傷害時の応急処置			
14. いざという時の応急処置 ③心肺蘇生法			
15. 試験およびまとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方: 次回の授業内容についてのキーワードなどを提示するので事前に調べておく。			
学習のあり方: 疑問点や理解できない点は授業中に積極的に質問する。教科書・参考文献などを熟読する。			
復習のあり方: 授業中で理解できなかったこと、小テストで回答できなかったことをなどを学習する。			
【成績評価】			
平常点: 受講態度・小テスト・レポートなど 30 点 (30%)、最終試験: 70 点 (70%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
小テストやレポートにコメントを記入し返却する。			
【テキスト】			
子どもの保健Ⅱ 松田博雄・金森三枝編集 中央法規			
【参考文献】			
学校救急処置法 全養サ書籍編集委員会 農文協			